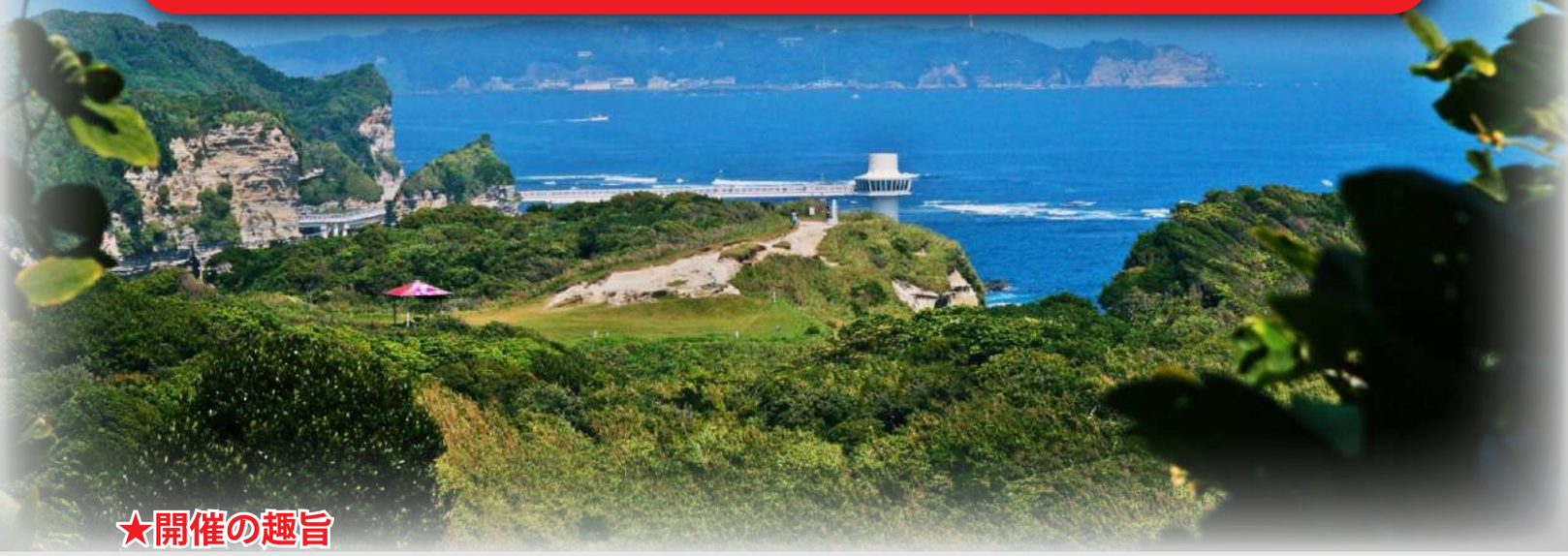
森林の再生による漁業資源の再生と、里山・里海のめぐみを活かした産業と観光の振興を！

「森は海の恋人」地域資源活用シンポジウム in 勝浦



★開催の趣旨

外房地域は、これまで盛んだったアワビやイセエビといった磯根漁業の衰退に直面しています。
その大きな要因として海の栄養補給源である山林の荒廃が挙げられています。漁場の再生のために何が求められているか、昨年 11 月御宿町で「森は海の恋人運動」で著名な畠山重篤氏を招き開催された第 1 回のシンポジウムに引き続き、「森里海連環学」の提唱者である京都大学名誉教授の田中 克（まさる）さんを迎えご講演いただきます。更に、本講演をベースとして地域のあらゆる資源を今一度整理し、それを土台とした新たな産業創造や観光事業への結びつきも視野に入れた意見交流の場を提供します。
農林水産・観光関連事業者をはじめ、行政、一般市民など明日の地域のあり方に関心のある皆さまのご参加をお待ちします。

とき

2018 年
2 月 3 日（土）13：00 ～ 16：00

ところ

勝浦市芸術文化交流センター（キュステ）大会議室
勝浦市沢倉 523-1　　TEL0470-73-1001
入場無料（定員 150 名）

★問合せ・参加申し込み（2018 年 1 月 27 日まで）
ちば里山・バイオマス協議会事務局〒290-0056 千葉県市原市五井 2437-2 -3F
・メールでのお申込み：お名前、所属、連絡先、人数をご記入の上 mail@chibakyo.net まで。
・電話でのお申込み：0470-76-3232(鈴木克己) まで。

主催：ちば里山・バイオマス協議会　　後援：勝浦市、千葉県漁業協同組合連合会
協力：勝浦漁業協同組合、新勝浦市漁業協同組合、千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合、一般社団法人勝浦市観光協会、勝浦市商工会、一般社団法人勝浦いすみ青年会議所、いすみ薪ネットワーク、NPO 法人竹もりの里、一般社団法人国土政策研究会、NPO 法人汎房総地域づくり研究会、NPO 法人農都会議、㈱竹姫、Z P 倶楽部、ONE 勝浦企業組合、南勝浦サポーターズ、NPO 法人南外房環境クラブほか

本シンポジウムは、平成 29 年度中央ろうきん助成プログラムの「ちば里山保全・事業化支援活動のリーダー養成」事業の一部として実施します。

基調講演：森里海を結び心豊かに暮らせる未来を！

田中　克 (まさる) さんプロフィール

京都大学名誉教授、舞根森里海研究所長、NPO 法人 SPERA 森里海・時代を拓く理事長代行、NPO 法人森は海の恋人理事、（一社）UMI・SUCHI 推進会議名誉顧問

1943 年琵琶湖の傍（大津市）に生まれる。水産庁西海区水産研究所（長崎市）や京都大学農学研究科におけるヒラメ・スズキ・マダイなどの稚魚研究を通じて、森と海の不可分のつながりにたどり着く。つながりの価値観を基にした自然と社会の再生を目指す統合学問「森里海連環学」を 2003 年に提唱。社会運動「森は海の恋人」との協同を進め、有明海･三陸沿岸・琵琶湖の水辺から日本の近未来を見据える。再び、科学の世界にも軸足を置きなおし、「つながりの価値観再構築」に関する総合研究を目指す。

★プログラム

13：00 ～ [第 1 部] 基調講演

講　師：NPO 法人森は海の恋人理事　京都大学名誉教授　田中 克氏

演　題：森里海を結び心豊かに暮らせる未来を！

14：30 ～ [第 2 部] パネルディスカッション

テーマ：「森里海を結ぶ地域資源の活用と再生による元気な地域づくりめざして」

パネラー:田中克氏、バイオマス産業社会ネットワーク竹林副理事長、国土政策研究会小浪専務理事、勝浦漁業協同組合代表理事組合長、新勝浦市漁業協同組合代表理事組合長、勝浦市観光協会会長、ほかを予定。

モデレ―ター：ちば里山・バイオマス協議会幹事 鈴木克己

★問合せ・参加申し込み (2018 年 1 月 27 日まで)

ちば里山・バイオマス協議会事務局〒290-0056 千葉県市原市五井 2437-2 -3F

・メールでのお申込み：お名前、所属、連絡先、人数をご記入の上 mail@chibakyo.net まで。

・電話でのお申込み：0470-76-3232(鈴木克己) まで。

★ちば里山・バイオマス協議会とは　http://www.chibakyo.net/

ちば里山・バイオマス協議会は、千葉県中部で里山保全や木質バイオマス活用等の活動を行っている地域住民・事業者が中心となって、里山再生、山林資源の活用、担い手の育成をめざす地域協働のネットワークです。